



『ゲーテンベルクのふしぎな機械』

ジェイムズ・ランフォード/作 千葉 茂樹/訳
(あすなろ書房)



1450年ごろ、ドイツのマイ
ンツ市にふしぎなものが登
場した。ゲーテンベルク印
刷機はどのようにして作ら
れたのか？活版印刷誕生の
秘話と、中世ヨーロッパの
人びとの暮らしぶりをあざ
やかに伝える歴史絵本。

『思考の整理学』

外山 滋比古/著(筑摩書房)



朝飯前の時間が大切、忘却
の効用、収斂的思考と拡散
的読書…。アイデアを軽
やかに離陸させ、思考をの
びのびと飛行させる方法
を、広い視野とシャープな
論理で知られる著者が明快
に提示する。

『南極がこわれる』

藤原 幸一/写真・文(ポプラ社)



地球温暖化、処理できない
ゴミ。いま私たち人類の抱
えている問題が、ペンギン
たちをも窮地に立たせてい
る。雪と氷の世界の生き物
たちを撮り続けてきた写真
家が、ペンギンを通して語
りかける、環境問題解決の
ためのメッセージ。

『石になった少女』

大城 将保/作 磯崎 主佳/画(高文研)



沖縄戦で戦争孤児になった
少女。村はずれの人待ち峠
で家族との再会を待ち続け
ているうちに、とうとう石
に化身してしまい…。沖縄
戦研究者が友人たちの体験
談をもとに描く、沖縄戦の
実相を伝える物語。

『朔と新』

いとう みく/著(講談社)



「伴走者になってもらいた
いんだ」事故で視力を
失った兄・朔は、走るこ
とをやめた弟・新に告げる。
かくして兄と弟は、一本の
ロープを握り、コースへと
踏み出してゆく。ブライン
ドマラソンは、兄弟の絆を
つなぎ止めるのか。

『十四歳日和』

水野 瑠見/著(講談社)



いけるグループに入れた
けれど、自分の居場所では
ないと気づいている葉子。
軽い気持ちで応募したオー
ディションの一次審査に
通った律。どれだけ努力し
ても成績は2位の大地…。
十四歳の心をていねいに描
く4つの季節の物語。

『本能寺の敵』

加部 鈴子/作 田中 寛崇/画(くもん出版)



明智光秀に仕える忍びの涼
音は、光秀や明智の家族に
心ひかれていく。そこへ、
かつての仲間・風斗が忍び
こむ。徳川家康に仕える風
斗は敵か？それとも味方
か？織田信長の天下統一ま
ぎわ、忍びの少女が見た本
能寺の変の物語。

『みつきの雪』

眞島 めいり/作 牧野 千穂/絵(講談社)

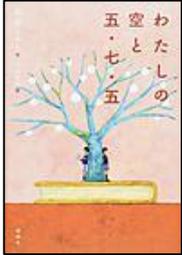


信州の村に住む小学5年生
の少女・満希は、都会から
の山村留学生、行人と友人
になる。やがてふたりは同
じ高校に進んだが…。小学
生から高校生に至る過去の
時間の間を行き来しなが
ら、ふたりの交流と成長を
あざやかに描く。



『わたしの空と五・七・五』

森荳 こみち/作(講談社)



自分がやりたいことをわかっている人は強い。わたし、なんもないもんなあ。自分に自信のない中1の空良は、ふとした成り行きで入った文芸部で「俳句」に出会い…。俳句の入門書でもある、さわやかな物語。

『かがみの孤城』

辻村 深月/著(ポプラ社)



部屋に閉じこもっていたころの目の前で、鏡が光り始めた。輝く鏡をくぐり抜けた先の世界には、似た境遇の7人が。秘めた願いを叶えるため、7人は城で隠された鍵を探す。『asta*』連載を大幅に加筆修正して単行本化。

『14歳』

千原 ジュニア/著(講談社)



もう二度とこの友だちとは遊ばない。遊べない。だけどこのままじゃ僕はつぶされてしまう。僕は僕を守るんだ。悲しい色に塗り替えられてしまう前に。僕の心は僕が色を塗るんだ…。幻の自伝的小説。

『跳べ、暁!』

藤岡 陽子/著(ポプラ社)



バスケットに情熱を燃やす14歳の春野暁は、転校先の平川中で欣子やブミリアたちと女子バスケット部を立ち上げる。だが、暁以外は初心者で、練習場所にも事欠く始末。さらにそれぞれの家庭の事情にも思い悩む日々で…。

『よるのばけもの』

住野 よる/著(双葉社)



夜になると、僕は化け物になる。ある日、化け物になった僕は、忘れ物とりに夜の学校へと忍びこんだ。誰もいない、と思っていた夜の教室。だけどそこには、なぜかクラスメイトの矢野さつきがいて。

『明日のランチはきみと』

サラ・ウィークス/作 ギーター・ヴァラダラージャン/作
久保 陽子/訳(フレーベル館)



インドから転校してきた自信家のラビと、自信がなく消極的なジョー。正反対なふたりが、同じ敵に立ち向かう!? ふたりの少年の最低で最高な1週間を描いた、爽快ストーリー。

『チョコレート・アンダーグラウンド』

アレックス・シアラー/著 金原 瑞人/訳(求竜堂)



健全健康党がチョコレート禁止法を発令。みんなに自由と正義とチョコレートを! 密売組織を作ったぼくたちのチョコレート大革命が始まった。読み出したら止まらない痛快小説。

貸し出し中の本は
予約も出来ます。
詳しくは職員に
お尋ねください。

